

1. 件 名：関西電力株式会社 大飯原子力発電所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和 2年 9月 10日 10:00 ～ 12:00

3. 場 所：原子力規制庁 3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、宮地防災専門官、平野補佐

関西電力株式会社

原子力事業本部 危機管理グループ チーフマネージャ 他2名

5. 要 旨

関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）から、大飯原子力発電所の訓練計画の説明に先立ち、令和2年7月28日に開催された事業者防災訓練報告会における山中委員からの指摘を踏まえた緊急時対応の強化に向けた取り組みに関して、過去の5年間の防災訓練結果を踏まえた課題の抽出・原因分析及び対策等について、説明があった。

原子力規制庁より、主に以下を伝えた。

- ・ERC プラント班との情報共有に係る課題の抽出においては、例えば、体制、要員の力量、システムなどのどこに課題があるのか明確にすること。また、特定の要員に依存するのではなく、組織として対応できる体制の構築について、考え方と方針を整理して示すこと。
- ・抽出された課題に対する対策の中期計画や今年度の訓練目標などへの反映については、大飯原子力発電所の訓練計画の説明において具体的に示すこと。
- ・大飯原子力発電所の訓練計画においては、ERC プラント班との情報共有（指標2）のみならず、他の指標（訓練への視察など）についても改善に向けた取り組みを示すこと。また、新たに活用する緊急時対策所における活動の検証等について、その具体を示すこと。

関西電力より、指摘事項について対応する旨回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 「緊急時対応の強化に向けた取り組みについて」